



和 協力する人
魂 自主性のある人
行 進んで行く人

清流

130号

発行：三和中学校PTA 編集：広報委員会 印刷：㈱キョクトー

未来に向かって輝け笑顔



卒業おめでとう



『心の中にきらめいて』
あの日歌ったメロディー
ずっと私はわすれない
あの日もらった言葉
ずっと私のたからもの

あの時の思い出は 今
確かにめぐりくる
笑顔で語り合った 時のように
心の中にかがやいて いつまでもわすれない



なみだをこぼして泣いた 時のように
心の中にきらめいて いつまでもわすれない

つばさに思いをのせた 時のように
心をこめて歌おうよ いつの日もこの歌を
いつまでも いつまでも



卒業生の皆さんへ

もう亡くなってしまいましたが、私が好きな詩人で書家の「相田みつを」さんの詩をひとつ紹介します。「みんなほんもの」という詩です。

「トマトがねえ トマトのままでいれば ほんものなんだよ トマトをメロンにみせようとするから にせものになるんだよ みんな それぞれにほんものなのに 骨をおってにせものになりたがる」

卒業生の皆さんいかがですか。この詩にふれて、どう感じ取るかは人それぞれ千差万別それでいいと思います。私がこの詩にふれて感じたこと。それを紹介して卒業生の皆さんへのごこととします。

私達ひとりひとりのからだは、なんとおよそ60兆個の細胞でかたちづけられているのだそうです。この銀河系宇宙の恒星の数が、およそ1千億個といわれていますから、なんとその6百倍の数の細胞です。本当だろうか？とには信じがたい数です。それだけでも人という存在の大切さを感じます。まさに、小宇宙、人体、そして命なのですね。このちっぽけなようで、実は宇宙規模の数の細胞でかたちづけられている私達のからだ。そのからだに宿る私達一人一人の命。その一つ一つの命はただその存在だけで、みんなほんものなのだと思います。そんな存在である皆さんにずっと持ち続けて欲しいもの。それは、「自分を大切に生きる」ということです。

例えばそれは、自分の中にもう一人の自分を育てること。困難に立ち向かっている時、がんばれ、負けるなど励ましてくれるもう一人の自分。急けている時、しっかりしろ、と叱ってくれるもう一人の自分。悩んでいる時、こうしてみたら、と相談にのってくれるもう一人の自分、心の中にそんな頼りがいのあるもう一人の自分を育てていくこと。

例えばそれは、周りの人を大切にすること。人を受け入れることのできる力、人の良いところを知る力、自分の感情をコントロールする力など、人を幸せにする力を育てていくこと。

例えばそれは、努力し挑戦していくこと。夢を持ち、目標を持ち、自分がやりたいことを自分で決め、その実現に向かって、困難を乗り越えていく力を育てていくこと。

トマトである自分がメロンという他人になろうとするのではなく、トマトである今の自分をありのまま認め、努力してさらにほんもののトマトになろうとすること。あせらず、あわてず、あきらめず、自分を大切にして、これからの人生を歩み続けてください。

校長 河野 裕二

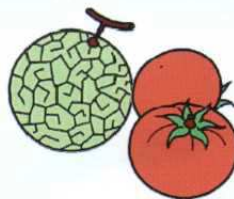
志



中村 雅俊先生

3年生のみなさん、卒業おめでとうございます。いろんな事があった3年間でしたが、過ぎてみれば「あつという間」に感じます。

これから先、もっともっといろんな事があると思いますが、勇氣と希望をもって前に進んでいってください。



心

米廣 省二先生

中学校の卒業という、大きな岐路を通り過ぎていく皆さん。ここまで成長を見守って下さった多くの人達の優しさを忘れず、これからどんな苦難があっても、自分の力で乗り越えて、悔いのない人生を歩んで下さい。期待しています。

真

須澤 正治先生

「冬来たりなば 春遠からず」

これからの人生でつらいこともあるかも知れませんが、それをじっと耐え忍び、辛抱して努力すれば、必ず好転するでしょう。

厳しい冬が確実に春に変わっていくのと同じです。いつも希望を持って頑張りましょう。

真

笹田 久美子先生

「今このときのための 今までだったと思う」すぐに期待できる結果が得られなくても、自分を信じて努力を続けましょう。めざす夢に向かって一生懸命頑張るあなたをこれからも応援させていただきますね。

ご卒業おめでとうございます。

夢

國川 昌司先生

これから体力・気力とも最も充実する年齢です。次なる目標を一途にめざしてください。

懐かしんで中学校に来てはいけません。風の便りで活躍の朗報だけ待っています。

大